学校番号	１００１

令和５年度　　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、福祉各分野における基本的な知識を学習する。
・講義だけでなく、グループ実習を行い、各自の視野を広げ、自ら考える時間と振り返りの時間を大切にする。

2　学習の到達目標

・日常生活における福祉の各分野について基本的な知識を身につけることができる。
・福祉の問題に対して、関心を持ち、身近な問題として考えられるようになる。
・福祉の仕組みと実際を理解し、活用できるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	福祉の各分野に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとする。	福祉の各分野の現状と課題に対して考察し、自分の考えを適切に表現している。	福祉の現状を示した諸資料より、情報を読み取り、まとめたりしている。	福祉の各分野における基本的な知識を身につけている。
評価方法	レポート 観察等	定期考査 レポート	レポート 観察等	定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	暮らしと社会福祉	・社会構造の変容と社会福祉 ・法と福祉	○	○ ○	○	 ○	a:少子化やライフサイクルの変容などと関連づけ、福祉への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:自らのライフサイクルを想像し、福祉と関連づけて考察を深めている。 c:資料等から社会構造の変容を読み取り、まとめたりしている。 d:社会福祉と法律について正確な知識を身につけている。	レポート
5月	社会福祉の考え方と目的	・社会福祉の考え方とその体系 ・社会福祉の目的と自立生活支援	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:福祉の考え方、目的などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:福祉の考え方に対する知識、関心を深め、自分の意見を表現している。 c:資料等から有用な情報を読み取り、まとめたりしている。 d:社会福祉の考え方、目的について正確な知識を身につけている。	レポート
6月	社会福祉の歴史	・イギリス・アメリカ・日本の社会福祉の歴史 ・ノーマライゼーションの生成と発展	○	○ ○	 ○	○ ○	a:社会福祉の歴史について、イギリス、アメリカ、日本を比較しながら意欲的に追及しようとしている。 b:各国の福祉の現状から、課題を考察し、適切に表現している。 c:視聴覚教材や資料等からキーワードを見つけ、情報をまとめたりしている。 d:社会福祉の歴史、ノーマライゼーションについて正確な知識を身につけている。	定期考査 レポート

7 月・ 8 月	社会福祉分野の現状と課題	・公的扶助 ・生活保護 ・障がい者福祉 ・高齢者福祉 ・児童福祉	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:福祉の各分野に対して、関心を深め、意欲的に追究しようとしている。 b:各分野の現状と課題について自ら考察を深め、表現しようとしている。 c:視聴覚教材や資料等からキーワードを見つけ、情報をまとめたりしている。 d:各分野に関する正確な知識を身につけている。	レポート
9 月	社会福祉への展望	・地域福祉の概要	○	○	○	○	a:地域福祉に対して、関心を深め、意欲的に追究しようとしている。 b:地域での福祉の現状について考察し、適切に表現している。 c:視聴覚教材や資料等からキーワードを見つけ、情報をまとめたりしている。 d:地域福祉に関する正確な知識を身につけている。	定期考査 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。